

放射線科の「名医に聞く」

さらに精度が向上した  
PET-CT検診でがんや  
認知症のリスクを察知。



PET/RIセンター長  
兼放射線科主任医長  
奥村能啓

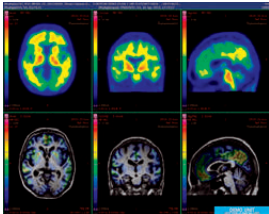
産業医科大学卒業。岡山大学病院、鳥取市立病院、福山市民病院等を経て岡山旭東病院へ。日本医学放射線学会放射線科専門医、日本核医学会核医学専門医。

放射線科と聞けば、一般的にはレントゲンやマンモグラフィを思い浮かべる人が多いはずですが、その領域は近年、検査から治療、予後の確認まで多岐にわたっています。具体的には、放射線科は一般X線撮影や消化管造影検査、CT検査、MRI検査、血管造影検査および血管内治療（IVR）など、現代医療のほとんどの領域にかかわっているといっても過言ではありません。放射線を使った画像診断と画像誘導下での侵襲性の少ない局所治療や血管内治療のニーズは年々高まっています。

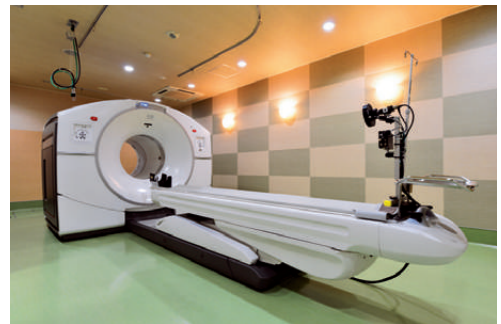
PET-CTです。PET-CTはがんに集積する性質を持つ検査薬（FDG）を静脈に注射し、全身を撮影する検査です。がんの有無に加えて、その位置や大きさ、進行度なども捉えることができます。ちなみに『岡山旭東病院』では、二〇〇四年に県下で初めてPET-CTを二台導入。今年の四月にも新しいPET-CTを導入し、稼働を始めるなど、PET-CTに関しては先駆けともいえる存在です。新機種の導入によって、これまで二回だった撮影が原則一回になりました。これは画質の向上により、がん検出の精度が上がったためで、撮影時間も短縮されました。加え

て検査薬が少ない量で済み、身体的にも精神的にも受診者の負担が軽減しました。

現在、PET-CTはアルツハイマー型認知症の診断にも有用性が期待されています。認知症患者は今後二〇年で倍増する勢いで急増していますが、PET画像によって最早期の診断が可能になりつつあります。がんのリスクを徹底的に調べたい人にはPETが



提供：GEヘルスケア・ジャパン  
アミロイドPET画像。アルツハイマー型認知症の典型例。大脳の周囲や中央部分の黄色～赤色の表示が異常を示す。



新しく導入されたPET-CTは、以前の機器に比べ撮影時間が短縮でき、がん検出の精度も向上した。

おかやまきょうとうびょういん

一般財団法人 操風会 岡山旭東病院

【院長】土井章弘  
岡山市中区倉田567-1  
☎086-276-3231  
<http://www.kyokuto.or.jp/>

【診療科目】脳神経外科／整形外科／リウマチ科／  
神経内科／リハビリテーション科／内科／麻酔科／  
放射線科／循環器科／形成外科  
【診療時間】9:00～12:00／14:30～16:00  
※木・土曜は午前のみ  
【休診】日曜・祝日 【駐車場】183台

